

2013年

板橋春闘お花見集会

110名

の参加者で開催



4月5日(金)板橋区立見次公園集会所に100名あまりの仲間が続々と集まってきました。幕開けは年金者

組合の合唱で始まり、広瀬議長は冒頭、今日の料理作りのために休暇を取り奮闘している皆さんを紹介と感謝の挨拶に会場から拍手が起きました。そして、板橋区労連の組織は確実に増えています。昨年未から準備をし、組合員を過半数組織しこの3月に団体交渉を成功させました。こうした良い話しもあるが、憤りを感じるJALの問題では、解雇四要件を無視し客室乗務員84名とパイロット81名を

不当解雇しながら昨年から940人の新規採用をするなど許すことはできない。今日のJAL物販と合わせて毎月29日(4月は24日)に池袋東口で行っている定例宣伝への参加を呼びかけました。「ビンゴゲーム」の景品は「板橋区労連商品券」今年は8店舗労働組合が地域おこし、街おこしにどのように関わっていくか、こうした方向に地域運動の根幹があると挨拶しました。関戸顧問の乾林

の音頭で交流に入りました。今年の余興である公共一般の内田さんとその友人による「フランダース」で集会も大いに盛り上がったところで、板橋区労連の新しい仲間「第一産業従業員労働組合」の紹介です。加藤委員長・吉田副委員長の「会社を守りたい一念で組合を立ち上げました。皆さんの助言を受けながら頑張っていきたいので宜しくお願いします」との挨拶に歓迎の大きな拍手がわき起こりました。



(峯田政美)

ホッとコーナー

心をつなぐ一歩前に！ 常幹組合リレー報告

東京私教連 帝京中高教職員組合



現在の帝京中・高等学校教

職員組合は組合員の高齢化が進み、年々組合員は減っていく現象が続きます。数年前までは定年後の嘱託制度などの問題で学園側と団体交渉を行ってきましたが、現在は団体交渉は途切れるなど、組合活動はかつてほど盛んではありません。年々減額されてきている賃金問題、有休を取ると一時金で減額されるといふ名ばかりの有休など職場に取り組みべき問題がないわけではありませぬ。そういった意味ではもう一度、待遇改善や労働条件の改善のための奮起が求められます。東京の板橋、八王子、福島県の安積、新潟

の長岡の帝京グループにある4つの高校が集まり、各高校が抱える諸問題を討議し、理解し合うための会議は年に2度ほど開催され、連携を図っています。また、私教連の下部組織である北部地区協会の参加、私学の集いへの参加、私学助成運動などの取り組みは続けています。区労連の皆様には大変お世話になっております。かつてあった職場での存在感を持てるように頑張らねばならないと思います。

(帝京中高教職員組合)

金江 昭喜



第60回城北ハイタク交流会が3月16日土曜日、板橋グリーンホール会議室で行われました。当日は16団体26名の皆様に参加いただき、安全自動車労組の小野世話人の挨拶で交流会

は始まりました。都内タクシー労働者のおける情勢の報告があり、続いて設問に添った問題提起と、会は進みました。各社、労働条件、給与体系が違う中、それぞれどのような取り組みが行われているか、問題が起こった時にどのような対策がとられているのか、諸事情等、私たちが通常業務する中だけでは知られない情報交換がありました。

経営者が違い待遇が違うのは当たり前のことなのですが、それらの意見を耳にすること

で私たちの業界がどのような立場にあるのか、知らされることも多かったですように思います。忌憚のない意見も多く、同じ会社であるにもかかわらず営業所が違うだけで趣が変わってしまうということが感じられました。

交流会は最後に飛鳥労組の野呂世話人の挨拶で終わりましたが、今後もこの交流会を継続させることは、これから起こる問題を解決させる良い指針になるように思えました。

(グリーンキャブ労組 板橋支部 長崎 正仁)

第60回城北ハイタク交流会 『あなたの願いと意思の意見交換会』開催



2013 5/1(水) 代々木公園